# 提案書様式

（様式1）提案書【基本情報】

（様式2）提案書【プロジェクト構想】

（様式3）提案書【資金計画】

（様式4）提案書【民間企業に関する情報】

（様式5）提案書【他事業の受給・申請状況】

（様式6）提案書【特許リスト・論文リスト】

（様式7）提案書【人権の保護および法令等の遵守への対応】

（様式8）提案書【特殊用語等の説明】

※Wordに記載のフォントサイズは、10.5ポイントとしてください。（フォントの種類は制限しません）

※余白：左右上下に2.0cmずつ

※提出時には、青字による注釈及び例示はすべて削除してから提出してください。

## （様式1）提案書【基本情報】

**基本情報**

※提案書は、公募要領に基づき作成してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **拠点名称** | ※拠点としての具体的目標を示す名称としてください。  ※仮称でも構いません |
| **提案概要** | ※提案するプロジェクトの研究開発内容全体がわかるように300字以内でまとめてください。  ※図、表の使用は不可です。 |
| **関連するSDGs** | ・SDG2 飢餓をゼロに  ・SDG7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  　・・・  ※複数設定いただいて構いません。 |
| **プロジェクトリーダー** | 氏　名　　○○大学　○○研究科　教授 |
| **実施期間** | 2020年度開始　～　2022年3月末日　終了予定 |
| **研究開発資金** | （単位：千円）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | |  | | 2020年度 | 2年度合計 | | （JST） | 研究開発経費（a） |  |  | | プロジェクト推進経費（b） |  |  | | 間接経費（c） |  |  | | 委託費合計（a＋b＋c） |  |  | | （外部） | 民間資金及び競争的研究費等※間接経費含む（d） |  |  | | リソース提供（e） |  |  | | 外部リソース総額（d＋e） |  |  | | 総　　額（a+b+c+d＋e） | |  |  |   ※民間資金については提案時の予定としてください。  ※リソースとは、プロジェクト推進のために企業等から拠出される貢献（大学等への資金提供を除く）を意味します。 |
| **代表機関** | ○○大学 |
| **参画機関**  **（大学等）** | ○○大学、国立研究開発法人○○研究所、○○高等専門学校  ※参画がない場合は、「参画なし」と記載してください。 |
| **参画機関**  **（企業等）** | 株式会社AA、株式会社BB、CC株式会社  ※自治体が参画する場合はこの欄に記載してください。 |

※採択された場合、上記内容の一部を公開する場合があります。

**○提案者**

**1．代表機関**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 | 学長　○○　○○ | |
| プロジェクトリーダー | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 | ※提案時に代表機関に身分を有していない場合は（予定）と記載してください。 |
| 副プロジェクトリーダー | ﾌﾘｶﾞﾅ |  |
| 氏名 |  |
| 所属・役職 | ※提案時に代表機関に身分を有していない場合は（予定）と記載してください。 |
| 拠点の全体管理を担う組織 | 組織名称 | ※代表機関におけるプロジェクトの全体管理を担う組織を記載してください。 |
| 組織責任者 氏名 | ※上記組織の責任者氏名 |
| 所属・役職 | ※上記組織責任者の所属・役職 |
| 事務担当者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 住所 | ※所属先の所在地 |
| 電話番号 |  |
| 電子ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ |  |

※副プロジェクトリーダーを置かない場合は該当欄を空欄としてください。特に、プロジェクトリーダーがアカデミア出身の場合、産業界出身の副プロジェクトリーダーを置くことを推奨します。

**2．参画機関（大学等）**

**※　代表機関以外の大学等が参画しない場合は、表を削除し「参画なし」と記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 2 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 研究開発責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

**3．参画機関（企業等）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 | ※本プロジェクトを担当する責任者氏名 |
| 所属・役職 | ※上記責任者の所属・役職 |
| 2 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |
| 3 | 機関名称 |  | |
| 代表者　職名・氏名 |  | |
| 実施責任者 | 氏名 |  |
| 所属・役職 |  |

※　必要に応じて表を増減してください。

**○特記事項**

※　「プロジェクトリーダーに関係する機関」を参画機関とする場合、または「JSTの出資先企業」を参画機関とする場合は、特記事項としてこの欄に記載してください。記載にあたっては、公募要領「第2章 2.6.3 利益相反マネジメントの実施」をご参照ください。

## （様式2）提案書【プロジェクト構想】

**プロジェクト構想**

※　作成にあたり、公募要領「第1章 1.1.3　プロジェクトの主要構成要素」の項目を必ず確認してください。

※　参画機関間で十分協議の上で作成・共有し、合意したものを記載してください。

**1．産学共創シナリオ**

※　**SDGsに基づく、拠点ビジョンを出発点として、バックキャストにより研究開発課題を設定する基本構想を本格型へのステップアップを見据えた上で記載してください。**

※　シナリオには、以下の事項を全て盛り込んで作成いただきます。ここでは各事項の目標や目的、及び事項間の関連性についての概略を記載してください。各事項の詳細については項番2以降で記載していただきます。

　　・拠点が目指す、SDGsに基づくあるべき未来の社会像（拠点ビジョン）

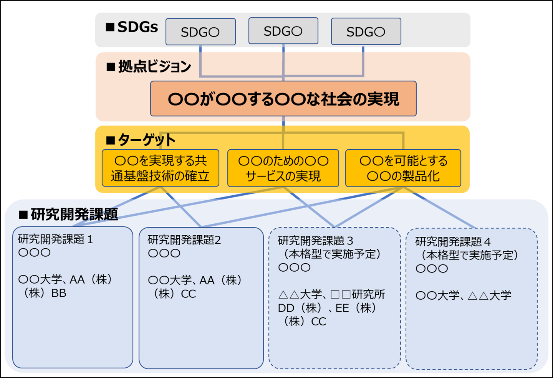
　　・拠点ビジョン実現に向けた駆動目標であり、具体的かつ本格型のプロジェクト終了時点で実現可能な社会実装の姿（＝ターゲット）

・ターゲットの達成手段としての研究開発課題

※　シナリオ全体の構成図は、以下の例示を参考に作成ください。

※　構成図の研究開発課題について、本格型へのステップアップ後に追加する予定の新規課題がある場合、育成型の実施期間中から取り組む課題との区別がつくように作成してください。

※　図表を含めて2ページ以内で作成ください。

（例示）

図◯　産学共創シナリオの構成図

**2．拠点ビジョン、ターゲットの設定**

**（1）拠点ビジョン**

【拠点ビジョン名】

　　〇〇が〇〇する〇〇な社会の実現

【関連するSDGs名】

　　※複数設定いただいて構いません。

【拠点ビジョンの構想】

※　**拠点が目指す、SDGsに基づくあるべき将来の社会像の構想を記載してください。**

※　**拠点ビジョンを設定した背景（社会的背景、国内外の研究動向、現在の課題（技術面、経済性、社会制度・規制面）について記載してください。**

※　**ステークホルダーとの拠点ビジョン策定に向けた意見交換を実施していれば記載してください。（ステークホルダーの対象、実施形態、意見交換内容を具体的に記載してください。）**

※　**拠点ビジョンの中で、最も野心的で、ワクワクするもの（※i）と考える点を記載してください。**

※　**拠点ビジョンの実現から想定される社会的価値や、経済的価値は何かを記載してください。**

※　**拠点ビジョンは本格型でのプロジェクト終了後のしかるべき時期（本格型開始から10年～20年後）に実現されることを想定**しています。

※　拠点ビジョンは本格型へのステップアップに向けて採択後に更なる作り込みが行われることを期待します。

※　中長期的な観点でのウィズ／ポストコロナ社会のあり方や課題を見据えたビジョン設定も期待します。

※　図表を含めて、2ページ以内で作成ください。

(※i)科学的根拠に基づいたストーリー性のある独創的構想によって想起される、期待感や高揚感等を指します。

【拠点ビジョンの深掘り計画】

　　※本格型へのステップアップに向けて、上記拠点ビジョンを更に作り込んでいく構想を具体的に記してください。

※その際、プロジェクト参画機関とともに多様なステークホルダーを巻き込んでいくことを想定したものにしてください。

　　※1ページ以内で記載してください。

**（2）ターゲット**

※　**拠点ビジョン実現に向けた駆動目標であり、具体的かつ本格型でのプロジェクト終了時点で実現可能な社会実装の姿を記載してください。**

※　ビジョンの深掘りに伴い、ターゲットの内容も随時見直すことを期待します。

※　図表を入れて、**ターゲット毎に1ページ以内で作成してください。**

1. **ターゲット1：〇〇〇〇**

・達成すべき目標

　※ターゲットの内容と実現を目指す具体的な目標について記載してください。

・ターゲット設定の背景

※拠点ビジョン実現にこのターゲットがどのように寄与するのか、何を実現するのに不可欠であるのか、参画する企業等の期待とともに、簡潔に記載してください。

・目標を達成するために必要な方策

※上記目標を達成するために解決すべき技術的課題・問題点について抽出し、解決可能とする必要な方策について記載してください。

**②　ターゲット2：〇〇〇〇**

・達成すべき目標

・ターゲット設定の背景

・目標を達成するために必要な方策

※　ターゲットの数に応じて追加してください。

**3．研究開発課題**

※　**ターゲットの達成手段としての研究開発課題について記載してください。この際、**「2.ターゲット」を踏まえて、**どのターゲットと関連性があるのかが分かるように記載してください。**

※　**ここでは育成型で実施する研究開発課題について記載してください。すなわち、どのような研究開発課題を組成することが、本格型のステップアップに必要かつ十分であるのかが分かるように記載してください。**

※　なおこの際、当該研究開発課題の実施における研究開発体制・マネジメント体制の構築等についても記載してください。

※　研究開発課題毎に2ページ以内で作成してください。

**①　研究開発課題1：○○○○**

・研究開発課題リーダー：氏名（○○大学　○○研究科　教授）

・共同研究機関　：○○大学、AA（株）、BB（株）

・課題1の研究費[単位：千円]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容　 　　　　年度 | 2020年度 | 2年度合計 |
| 研究開発経費 |  |  |
| 間接経費 |  |  |
| 外部リソース（間接経費含む） |  |  |
| 合計 |  |  |

・研究開発計画の概要：

※　研究開発課題の組成については、本格型移行へ向けて育成型で実施する内容を具体的に記載してください。

　　（例）

　　・エビデンスに基づく社会・経済インパクト及び社会・産業ニーズの検証

・技術的課題およびその難易度と実現可能性の検証

・社会実装にあたっての課題の検証

・本格型での研究開発計画（実施体制、予算、マイルストーン等）の検討

・研究成果の展開（ビジネスモデル、企業への引き渡し等）を見据えた活動の検討

※　実施する研究開発課題が決まっている場合は、次の観点を含めて、箇条書きで記載してください。

・育成型終了時に達成すべき定量的目標

・技術的課題にあたってのアプローチについて、他の研究グループや先行研究との優位性

※　参画機関間で十分協議の上で作成・共有し、合意したものを記載してください。

・本格型へのステップアップ時点の構想:

※　育成型で設定した目標が達成できた場合に、本研究開発課題に追加する予定の研究項目及び参画機関について可能な範囲で記載してください。

**②　研究開発課題2：○○○○**

・研究開発課題リーダー：

・共同研究機関　：

・課題2の研究費[単位：千円]

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容　 　　　　年度 | 2020年度 | 2年度合計 |
| 研究開発経費 |  |  |
| 間接経費 |  |  |
| 外部リソース（間接経費含む） |  |  |
| 合計 |  |  |

・研究開発計画の概要：

・本格型へのステップアップ時の構想:

**③　研究開発課題3（調整中）：○○〇〇**

※　調整中の研究開発課題についても、可能な範囲で記載してください。

※　機関名称を記載できない場合は、「電機メーカーＡ」や「食品系会社Ｂ」などでも結構です。その際に研究開発の予定期間及び予定金額を可能な範囲で記載してください。

※　研究開発課題の数に応じて項目を追加してください。

**4．ターゲット実現に向けた研究開発構想**

　※　本格型でのターゲット実現に向けて、本格型への移行時に新規で追加する予定の研究開発課題（研究実施体制の構想も含む）について、その必要性や妥当性を含め記載してください。

　※　研究開発課題毎に１ページ以内で作成してください。

**5. 研究開発予定表（ロードマップ）**

**①　研究開発実施予定表**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **研究開発課題** | **課題の目標** | **担当機関** | **2020年度** | **2021年度** | **2022年度** | **2023年度** | | **2024年度** | **2025年度** | **2026年度** | **2027年度** | **2028年度** | **2029年度** | **2030年度** | **2031年度** |
| **FS1年目** | **FS2年目** | **本格1年目** | **本格2年目** | | **本格3年目** | **本格4年目** | **本格5年目** | **本格6年目** | **本格7年目** | **本格8年目** | **本格9年目** | **本格10年目** |
| 課題1●● | 各研究開発課題の育成型終了時点の目標と最終目標の内容をそれぞれ簡潔に記載してください。 | ○○大学  ○○研究所  （株）AA  （株）BB |  | **◆目標1-1** |  |  | **◆目標1-2** | |  |  |  |  |  |  | **◆目標1-3** |
| 課題2●● |  | ○○大学  （株）AA  （株）BB |  |  | **◆目標2-1** |  |  | | **◆目標3-1**  **◆目標2-2** |  |  |  |  |  | **◆目標2-3** |
| 課題3●● |  | ○○大学  （株）AA  （株）BB |  | **◆目標3-1** |  |  |  | |  |  |  | **◆目標 3-2** |  | **◆目標3-3**  **◆目標4-3** |  |
| 課題4●●（育成型で研究開発課題を組成予定） |  |  |  |  | **◆目標4-1** |  | **◆目標4-2** | |  |  |  |  |  |  |  |

※　育成型で実施する課題（様式2.3「研究開発課題」に記載する課題）についてのみ記載してください。

※　育成型終了時点の目標と本格型移行時からの目標に分けて記載してください。

※　研究開発課題の組成や構想から始める場合は、本格型からの研究開発課題の矢印は点線にしてください。

※　「②目標の内容」と対応するように目標番号を記載してください。（目標1-1、目標1-2、目標1-3・・・）

・本格型での実施も踏まえて、研究開発課題毎に1箇所以上は設定してください。

・課題別に時系列順で目標1-1、目標1-2、・・・としてください。

・研究実施期間に合わせて列を削除してください

**②　目標の内容**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 課題番号 | 目標  番号 | 達成  時期 | 内容 |
| 課題1 | 目標1-1 | 2022 | ○○条件下において△△の値を□□以上とする。 |
| 課題1 | 目標1-2 | 2031 |  |
| 課題1 | 目標1-3 | 2031 |  |
| 課題2 | 目標2-1 | 2022 |  |
| 課題2 | 目標2-2 | 2025 |  |
| 課題2 | 目標2-3 | 2030 |  |
| 課題3 | 目標3-1 | 2022 |  |
| 課題3 | 目標3-2 | 2025 |  |
| 課題3 | 目標3-3 | 2027 |  |
| 課題4 | 目標4-1 | 2022 | 本格型での研究開発課題実施に向けた基礎データの収集 |
| 課題4 | 目標4-2 | 2025 | 検討中（育成型期間中に決定） |
| 課題4 | 目標4-2 | 2031 | 検討中（育成型期間中に決定） |
|  |  |  |  |

※　本格型での実施も踏まえた、研究開発課題の目標を記載してください。

※　PoC達成の判断基準は採択後に設定いただくため、PoCの達成は目標に含めないでください。

PoC達成の判断基準の詳細は「1.1.5(2) 研究開発課題への民間資金導入について」をご確認ください。

※　研究開発の進捗状況、国内外の研究開発動向に応じて変更することは可能とします。

**6．産学共創システム**

※　作成にあたり、公募要領「第1章 1.1.3(3)　産学共創システム」の項目を必ず確認してください。

※　参画機関間で十分協議の上で作成・共有し、合意したものを記載してください。

**（1）産学共創システムの体制図**

※　本格型終了後の産学共創拠点の自立化に必要となる体制と機能（全体運営、研究開発企画、産学連携マネジメント、研究開発基盤、外部リソース獲得、人材育成）と、それらを実行する代表機関のプロジェクト担当組織・主な協力組織、主な運営部門の体制図を作成ください。

※　**現在検討中の項目については（検討中）と記載してください。**

※　本体制は提案時の構想であり、拠点内で協議の上での変更は適宜可能です。

**(2)代表機関の具体的な役割**

※　代表機関の既存の組織・体制（産学連携本部、管理部門、オープンイノベーション機構、ＴＬＯ等）の役割と連携内容が分かるように明記してください。

※　代表機関が既存の産学連携拠点形成型プログラム（センター・オブ・イノベーションプログラム（COI）、産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム（OPERA）、世界に誇る地域発研究開発・実証拠点(リサーチコンプレックス)推進プログラム、イノベーションハブ構築支援事業）に参画している場合は、これらの運営組織との連携や効率的な運営についても明記してください。

※　「（3）産学連携マネジメント改革の加速」と関連があれば明記してください。

※　**現在検討中の項目については（検討中）と記載してください。**

※　図表を含めて4ページ以内で作成ください。

**【プロジェクト・拠点全体管理】**

※　代表機関における拠点の全体管理等の取組（拠点長（ＰＬ）のマネジメント力を発揮するための方策や拠点の活動状況を参画機関の間で共有する仕組みなど）の構想について記載してください。

※　研究領域や学部等を横断した研究者の組織化を行うための取組（産学連携が進む人事評価制度、インセンティブとしての給与、スペース、研究費配分への反映等）の構想を記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【研究開発企画（ビジョン・ターゲット・研究開発課題の探索・構築）】**

※　プロジェクト実施中のビジョンのブラッシュアップ・共有、新たなターゲットや研究開発課題の企画・提案を行うための取組（社会のニーズ・課題の分析や、バックキャスティングにより社会のニーズ・課題解決など）の構想について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【産学連携マネジメント】**

※　計画・進捗管理、知財・データの管理・活用、経理・契約管理、参画機関との調整等の取組の構想について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【研究開発基盤】**

※　機器・施設（実証フィールド含む）の利用や共用等の仕組みの構想について記載してください。参画機関の機器・施設を利用・共用する予定があれば、その詳細も記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【外部リソース獲得】**

※　新たな参画機関の勧誘、共同研究や資金・リソース拠出等に係る企業等との交渉、外部資金獲得活動、成果の社会実装に向けた活動、大学等発ベンチャー投資への対応など外部リソース獲得の取組の構想について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【人材育成】**

※　持続的な産学共創拠点の維持・発展に向けた、マネジメント人材・研究人材の育成取組の構想について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**【その他】**

* 上記以外の機能に関する取組について、必要に応じて適宜記載してください。
* 育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

**（3）代表機関の産学連携マネジメント改革の加速**

※　「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」（以下、ガイドラインという。）【<https://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/taiwa/1380912.htm】>

「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン【追補版】」

【https://www.meti.go.jp/press/2020/06/20200630004/20200630004-2.pdf】

の内容を踏まえて、**現在の取組状況および本プロジェクトでの新しい取組、全体目標**をそれぞれの項目に記載してください。

※　いずれも、実施期間中に適宜変更可能です。

※　**現在検討中の項目については（検討中）と記載してください。**

※　図表を含めて3ページ以内で作成ください。

**【資金の好循環（産学共同研究における費用負担の適正化・管理業務の高度化、大学・国立研究開発法人の財務基盤の強化）についての方針】**

※　大学等の民間資金の受け入れにおいて、現在の費用負担状況、及びこれから取り組む具体的な費用負担（教員及び学生等の人件費の算定方法や間接経費を含めた共同研究に必要となる経費の算定方法を含む。）等の方針について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

　　■これまでの取組状況

　　■育成型での新たな取組予定、目標

　■本格型での構想

**【知の好循環（知的財産の活用に向けたマネジメント強化、リスクマネジメントの強化、知的資産マネジメントの高度化）についての方針】**

※　協調領域・競争領域の研究開発特性を踏まえ、企業等が参画することへの価値を提供できる知的財産の取扱い等の方針について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

■これまでの取組状況

■育成型での新たな取組予定、目標

　■本格型での構想

**【人材の好循環についての方針】**

※　大学、公的研究機関、企業等の組織の壁を越えて、人材が流動化するための方針について記載してください。

※　産学連携活動に継続的に携わることができる柔軟な人事評価制度を設計するための方針について記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

■これまでの取組状況

　　■育成型での新たな取組予定、目標

　■本格型での構想

**【その他、ガイドラインを踏まえた産学連携マネジメント改革の方針】（任意記載）**

※　上記以外の項目で自主的に策定する産学連携マネジメント改革の方針について、記載してください。

※　育成型で実施する内容と本格型移行時に新たに実施する内容が区別できるよう記載してください。

■これまでの取組状況

　　■育成型での新たな取組予定、目標

　■本格型での構想

**7．代表機関の本プロジェクトに対するコミットメント**

※　本プロジェクトに対し、代表機関における既存体制がどのように位置付けられているのかを含めて記載してください。

※　図表を含めて1ページ以内で作成ください。

**8．参加者一覧**

（１）　プロジェクトリーダー情報

※　本記載は2ページ以内で作成してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名(ふりがな) |  | 生年月日 | 19yy年00月00日 |
| 所属機関  部署・役職 | 代表機関での身分と本務（企業等）の身分の双方をお持ちの場合は、双方ともご記載ください。 | | |
| 専門分野 |  | | |
| 学歴 | 19yy年○月　○○大学　○◯学部　卒業 | | |
| 職歴 |  | | |
| 過去の産学共同研究開発の実績 | ※（様式5）【他事業の受給・申請状況】以外の、国、独立行政法人、公益法人等の助成金に依らない産学共同研究の実績がありましたら記載してください（直近の一例で結構です。）  （記載例）  研究期間：2013年5月～2017年3月  共同研究企業：○○株式会社（秘密保持等で明示できない場合には「A社」でも結構です。）  企業側研究費（研究期間総額）：2,000万円 | | |
| 過去のマネジメント実績 | * プロジェクトマネジメントに係る過去の実績について記載してください。（組織経営、事業の立ち上げ・運営、製品・サービスの開発プロジェクトの管理、産学連携プロジェクトのマネジメント等）   （記載例）※秘密保持等の観点で差支えのない範囲で記載してください。  ・JST〇〇事業（20XX-20XX）に〇〇の立場で参画し、産学連携マネジメント（主に〇〇業務）に従事。  ・〇〇大学 理事・副学長（産学官連携担当）として、〇年間、大学の経営に参画。〇〇に貢献。  ・〇〇株式会社取締役（〇〇担当）として、〇年間、〇〇部門の経営に従事  ・〇〇株式会社において△△事業のマネジメントに従事し〇〇製品を新規開発  ・〇〇大学発ベンチャーである〇〇株式会社代表取締役として、〇年間、法人設立・経営に従事し、〇〇の資金調達・〇〇〇の商品化を実現 | | |
| 本プロジェクトに対するPLの方針 | ※　本プロジェクトに対する抱負とビジョンの達成に向けた取り組みの基本的な考え方（構想）について200字以内で記載してください。 | | |

（２）　副プロジェクトリーダー情報

※　本記載は2ページ以内で作成してください。

※　副プロジェクトリーダーを置かない場合は表を削除し、「該当者なし」と記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名（ふりがな） |  | 生年月日 | 19yy年00月00日 |
| 所属機関  部署・役職 | 代表機関での身分と本務（企業等）の身分の双方をお持ちの場合は、双方ともご記載ください。 | | |
| 専門分野 |  | | |
| 学歴 | 19yy年○月　○○大学　○◯学部　卒業  … | | |
| 職歴 |  | | |
| 過去の産学共同研究開発の実績 | ※（様式5）【他事業の受給・申請状況】以外の、国、独立行政法人、公益法人等の助成金に依らない産学共同研究の実績がありましたら記載してください（直近の一例で結構です。）  （記載例）  研究期間：2013年5月～2017年3月  共同研究企業：○○株式会社（秘密保持等で明示できない場合には「A社」でも結構です。）  企業側研究費（研究期間総額）：2,000万円 | | |
| 過去のマネジメント実績 | * プロジェクトマネジメントに係る過去の実績について記載してください。（組織経営、事業の立ち上げ・運営、製品・サービスの開発プロジェクトの管理、産学連携プロジェクトのマネジメント等）   （記載例）※秘密保持等の観点で差支えのない範囲で記載してください。  ・JST〇〇事業（20XX-20XX）に〇〇の立場で参画し、産学連携マネジメント（主に〇〇業務）に従事。  ・〇〇大学 理事・副学長（産学官連携担当）として、〇年間、大学の経営に参画。〇〇に貢献。  ・〇〇株式会社取締役（〇〇担当）として、〇年間、〇〇部門の経営に従事  ・〇〇株式会社において△△事業のマネジメントに従事し〇〇製品を新規開発  ・〇〇大学発ベンチャーである〇〇株式会社代表取締役として、〇年間、法人設立・経営に従事し、〇〇の資金調達・〇〇〇の商品化を実現 | | |

（３）　参加者リスト

※プロジェクトリーダー、副プロジェクトリーダー、拠点の全体管理を担う組織の代表者、拠点担当（部門責任者レベル）、研究開発責任者、実施責任者、研究開発課題リーダーは、氏名、所属・役職、プロジェクトでの役割、エフォートをご記載ください。

※上記以外の研究開発担当者（プロジェクトに参画する大学等の研究者等）は想定人数を記載してください。

※各参画機関（大学等）の責任者：研究開発責任者（※代表機関においてはPL）

※各参画機関（企業等）の責任者：実施責任者

※各研究開発課題の責任者：研究開発課題リーダー

　・研究開発課題リーダーは研究開発責任者と兼ねることが可能です。

　・研究開発課題リーダーは大学等に身分を有している必要があります。

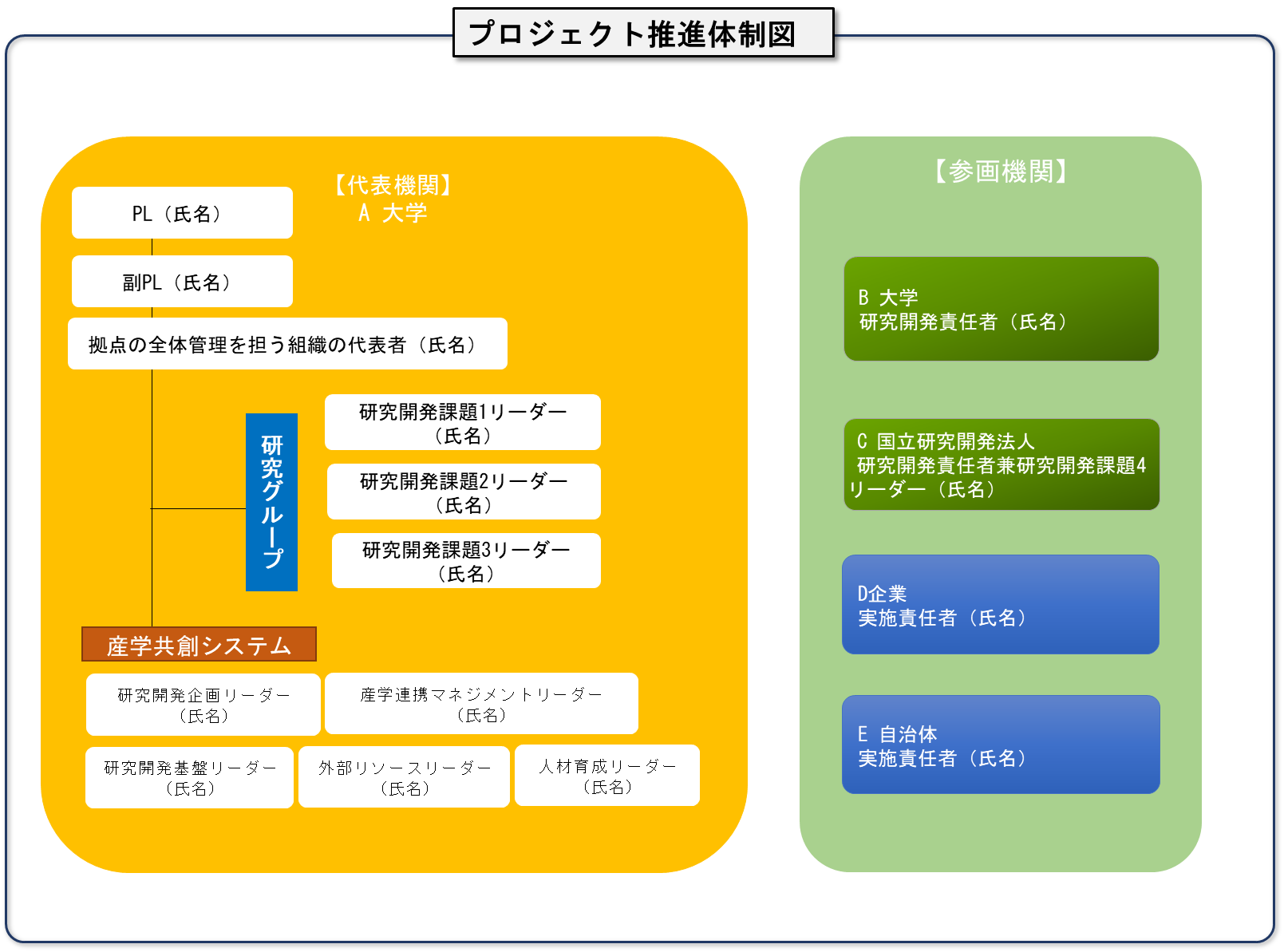
※　「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。エフォートは、原則５％から１００％までの５％刻みで設定してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **区分** | **機関名** | | |
| **氏名** | **部署　役職** | **プロジェクトでの役割** | **エフォート※** |
| **代表機関** | **○○大学** | | |
| 氏　名 | ○○研究科　教授 | プロジェクトリーダー  研究開発責任者 | ○％ |
| 氏　名 | ○○研究科　教授 | 副プロジェクトリーダー | ○％ |
|  |  | 拠点の全体管理を担う組織の  代表者 | ○％ |
|  |  | 研究開発課題1リーダー | ○％ |
|  |  | 研究開発課題2リーダー | ○％ |
|  |  | 研究開発課題3リーダー | ○％ |
|  |  | 産学共創システム  研究開発企画リーダー | ○％ |
|  |  | 産学共創システム  産学連携マネジメントリーダー | ○％ |
|  |  | 産学共創システム  研究開発基盤リーダー | ○％ |
|  |  | 産学共創システム  外部リソース獲得リーダー | ○％ |
|  |  | 産学共創システム  人材育成リーダー | ○％ |
| 研究開発担当者 | ◯◯名（※研究員やRA等の予定人数の合計を記載ください。 | | |
| **参画機関** | **△△大学** | | |
| 氏　名 | ○○研究科　教授 | 研究開発責任者 | ○％ |
| 研究開発担当者 | ◯◯名（※研究員やRA等の予定人数の合計を記載ください。） | | |
| **参画機関** | **国立研究開発法人□□** | | |
| 氏　名 | ○○　チームリーダー | 研究開発責任者  研究開発課題4リーダー | ○％ |
| 研究開発担当者 | ◯◯名（※研究員やRA等の予定人数の合計を記載ください。 | | |
| **参画機関** | **株式会社◯◯** | | |
| 氏　名 | ○○○○　主任研究員 | 実施責任者 | ○％ |
| **参画機関** | 自治体◯◯ | | |
| 氏　名 | ◯◯◯◯ | 実施責任者 | ○％ |

※　必要に応じて、表を増減してください。

**9.プロジェクト推進体制図**

※「8.参加者一覧」を踏まえて、プロジェクトを推進していく体制図をご記載ください。



（例示）

図◯　プロジェクト推進の体制図

## （様式3）提案書【資金計画】

**資金計画**

※　本項目は、（様式3）提案書【資金計画】のエクセルファイルに記入してください。

※　提出の際は、本ページは削除してください。

## （様式4）提案書【企業に関する情報】

**企業に関する情報**

※　提案者となる各企業等については、以下のとおり概要を記載してください。大学等・自治体については不要です。

※　1機関あたり1ページ以内で作成し、参画する企業等の数に応じて適宜ページを追加してください。

※　項目①～⑩について、**企業ホームページに記載がある場合に限り、記載の省略が可能です。**

※　業種、研究開発分野は、本様式の最後に添付している「企業の業種表及び研究開発分野表」より主な１つをご記入ください。

※　プロジェクト実施期間中に新たに参画する企業についても同様に提出していただきます。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2020年00月00日 現在 | | | | | | | | | | | |
| 企業名 | | **株式会社　○○○○** | | | | | | | | | |
| ホームページ（企業情報のページ） | | https:// | | | | | | | | | |
| ①設立年月 | | 0000年0月 | | | | | | | 上場 | | 有(0000年00月)･無 |
| ②本社所在地 | | ○○県○○市○○町○丁目○番○号 | | | | | | | | | |
| ③工場 | | 本社工場（○○市）、□□工場（□□市） | | | | | | | | | |
| ④研究所 | | 中央研究所（○○市）、□□研究所（□□市） | | | | | | | | | |
| ⑤代表者名 | | 代表取締役　○○○○ | | | | | | | | | |
| ⑥役員数 | | 00 | | 人 | ( | 00 | 人[技術系役員] | | | | ) |
| ⑦社員数 | | 0,000 | | 人 | ( | 0,000 | 人[研究開発要員] | | | | ) |
| ⑧資本金 | | 0,000 | | 百万円 | | | | | | | |
| ⑨主要関係会社 | | 株式会社　○○○○（販売会社） | | | | | | | | | |
| ⑩事業内容 | ○○○○、□□□□の製造及び販売、△△△△の受託研究開発 | | | | | | | | | | |
| JST等との  関係 | | JST又は官公庁、独立行政法人、公益法人等から受託研究、補助金等の実績があれば、主なものについて記入してください。（配分機関、事業・制度名、実施期間等） | | | | | | | | | |
| 本プロジェクトに関連する研究開発能力 | | 業種 | 業種表から選択（主な１つ） | | | | | 研究開発分野 | | 研究開発分野表から選択（主な１つ） | |
| 記入例）　□□研究所、▽▽㈱とも協力関係を築いており、本年度も☆☆☆☆の研究開発を実施している。（…等、研究開発の実施能力を示す事柄を記述してください。） | | | | | | | | | |
| 本プロジェクトに関連する研究開発実績 | | 記入例）　平成☆年、独自に○○○○を開発し製造販売している。また、◎◎◎◎について□□大学△△教授の協力を得て研究・開発を実施、企業化の目処が立ち、来年には販売開始予定である。（…等、主な実績を記述してください。箇条書きで結構です。） | | | | | | | | | |

## （様式5）提案書【他事業の受給・申請状況】

**他事業の受給・申請状況**

※　プロジェクトリーダー、副プロジェクトリーダー、研究開発課題リーダー及び研究開発責任者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人受給研究費の額、エフォート等を記載してください。

※　記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。

※　副プロジェクトリーダーを置かない場合は表を削除し、「該当者なし」と記載してください。

＜ご注意＞

※　現在申請中・申請予定の研究助成等について、本提案の選考中にその採否等が判明するなど、本様式に記載の内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、本公募のお問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

1．プロジェクトリーダー

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名  （代表者氏名） | 研究  期間  (開始年月～終了年月) | 役割  (代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）  (2) 〃 (2020年度予定）  (3) 〃 (2021年度予定）  (4) 〃 (2022年度予定） | | エﾌｫｰﾄ |
|  |  | 2017.10  ～  2021.9 | 代表 | (1) | 125,000千円 | % |
| (2) | 25,000千円 | % |
| (3) | 25,000千円 | % |
| (4)   * 現在受けている、または採択が決定している助成等について、本人受給研究費（期間全体）が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください（「制度名」の欄に「（申請中）」などと明記してください）。 * 「役割」は、代表または分担等を記載してください。 * 「本人受給研究費」は、**ご本人が受給している金額（直接経費）**を記載してください。 * 「エフォート」は、当該研究者の「全仕事時間に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合」となります。なお、この「全仕事時間」には、研究活動にかかる時間のみならず、教育活動や管理業務等にかかる時間が含まれます。   「エフォート」は、原則、5％から100％までの5％刻みで設定してください。   * 申請中のものは採択された場合のエフォートを記載してください。 * 必要に応じて行を増減してください。 | 0千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

2．副プロジェクトリーダー

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名  （代表者氏名） | 研究  期間  (開始年月～終了年月) | 役割  (代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）  (2) 〃 (2020年度予定）  (3) 〃 (2021年度予定）  (4) 〃 (2022年度予定） | | エﾌｫｰﾄ |
|  |  | 2017.10  ～  2021.9 | 代表 | (1) | 125,000千円 | % |
| (2) | 25,000千円 | % |
| (3) | 25,000千円 | % |
| (4) | 0千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

3．研究開発課題リーダー①：氏名

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名  （代表者氏名） | 研究  期間  (開始年月～終了年月) | 役割  (代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）  (2) 〃 (2020年度予定）  (3) 〃 (2021年度予定）  (4) 〃 (2022年度予定） | | エフォート |
|  |  | ～ | 分担 | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

4．研究開発課題リーダー②：氏名

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名  （代表者氏名） | 研究  期間  (開始年月～終了年月) | 役割  (代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）  (2) 〃 (2020年度予定）  (3) 〃 2021年度予定）  (4) 〃 (2022年度予定） | | エﾌｫｰﾄ |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

5．研究開発責任者：氏名

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名 | 研究開発課題名  （代表者氏名） | 研究  期間  (開始年月～終了年月) | 役割  (代表/分担) | (1)本人受給研究費(期間全体）  (2) 〃 (2020年度予定）  (3) 〃 (2021年度予定）  (4) 〃 (2022年度予定） | | エフォート |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |
|  |  | ～ |  | (1) | 千円 | % |
| (2) | 千円 | % |
| (3) | 千円 | % |
| (4) | 千円 | % |

※　必要に応じて、表を増減してください。

## （様式6）提案書【特許リスト・論文リスト】

**特許リスト**

※　本提案と関連する研究開発成果として特許（本提案の参加者が発明者になっている特許に限る）が含まれる場合は、重要な順に5件以内を、以下について記載してください。

※　必要に応じて表を追加してください。

**○出願特許1**

|  |  |
| --- | --- |
| ①発明の名称 |  |
| ②出願番号・特許番号 |  |
| ③出願日 |  |
| ④発明者（全員記載のこと） |  |
| ⑤出願人（全員記載のこと） |  |
| ⑥実施・実施許諾の状況 |  |
| ⑦PCT出願・海外出願の有無 |  |
| ⑧分類　※1 | A：新しい原理や現象の発見に基づく研究成果に係わる特許 |
| ⑨競合・類似技術の状況  （200字以内でまとめてください） | ※「競合・類似技術は存在しない」、「これまでにない初めての技術」等のコメントは不可。必ず、他の技術と比較しコメントを記載してください。 |
| ⑩競合・類似技術に対する優位性  （200字以内でまとめてください） | ※他の技術と比較したときの優位性について必ずコメントを記載してください。 |
| ⑪産学共創シナリオへの寄与  （200字以内でまとめてください） | ※本特許が拠点ビジョン実現やターゲット達成にどのように貢献するのか、シナリオで設定する研究開発課題との関連性を踏まえ記載してください。 |
| （対応する研究開発課題）  課題1、課題2、課題3・・・ |

※1　以下に該当する内容を1つだけ記載してください。

A：新しい原理や現象の発見に基づく研究成果に係わる特許

B：機能性新規物質についての研究成果に係わる特許

C：新規プロセス・方法に関する研究成果に係わる特許

D：新規メカニズム・システムに関する研究成果に係わる特許

**論文リスト**

※　本提案と関連する論文等（本提案の参加者が著者になっている論文に限る）がある場合は、重要な順に5件以内を、以下について記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
| ※200字以内で概要を記載してください。 | | |
| （対応する研究開発課題）課題1、課題2、課題3・・・ | | |
| 2 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  | | |
| （対応する研究開発課題） | | |
| 3 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  | | |
| （対応する研究開発課題） | | |
| 4 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  | | |
| （対応する研究開発課題） | | |
| 5 | タイトル： |  |
| 掲載先： |  |
| 著者名： |  |
|  | | |
| （対応する研究開発課題） | | |

## （様式7）提案書【人権の保護および法令等の遵守への対応】

**人権の保護および法令等の遵守への対応**

本提案については、遵守すべき法令・ガイドライン等を理解の上策定したことを確認します。

また提案の実施にあたっても、法令・ガイドライン等を遵守して実施することを確認します。

|  |
| --- |
| （遵守すべき法令・ガイドライン等の例）  ・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成２６年８月２６日文部科学大臣決定。その後の改正を含む）  ・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成１９年２月１５日施行/平成２６年２月１８日改正文部科学大臣決定。その後の改正を含む。）」  ・安全保障貿易管理（海外への技術漏洩への対処）について、最先端研究の成果等が大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団など、軍事転用等の懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、外国為替及び外国貿易法（外為法）をはじめ、各府省が定める法令・省令・通達等  ・海外における実地の研究活動（生物資源の持ち出しも含む）や海外研究機関との共同研究を行う際には、関連する国の法律等  ・ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理および安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等 |

　　　☐以上につき、確認しました。

## （様式8）提案書【特殊用語等の説明】

**特殊用語等の説明**

|  |  |
| --- | --- |
| **用語** | **説明** |
| ※提案書で使用している業界用語、専門用語及び略語等の特殊用語のうち、研究開発を総合的に把握するうえで必要と思われる用語について、わかりやすく簡単に解説を記入してください。  ※必要に応じて行を追加してください。 |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

# 企業の業種表及び研究開発分野表

（本表は削除してe-Radへ申請書をアップロードしてください）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 業種 |  | 研究開発分野 | |
| 食料品 |  | 電子部品・デバイス・電子回路分野 | 医療福祉・介護分野 |
| 繊維製品 |  | コンピュータ分野 | 健康分野 |
| パルプ・紙 |  | ネットワーク分野 | 生物機能活用技術分野 |
| 化学 |  | ユーザビリティ分野 | 計測・分析分野(ソフトを含む) |
| 医薬品 |  | ソフトウェア分野 | センサ分野 |
| 石油・石炭製品 |  | その他電子・情報通信 | 光デバイス分野 |
| ゴム製品 |  | エネルギー分野(エネルギー効率の向上、燃料多様化、新エネルギー、化石燃料等) | プラズマ・放電分野 |
| ガラス・土石製品 |  | 超電導技術分野 | 振動・音響分野 |
| 鉄鋼 |  | CO2固定化・有効利用分野 | その他応用物理 |
| 非鉄製品 |  | 脱フロン対策分野 | 飲食料品・たばこ分野 |
| 金属製品 |  | 3R・廃棄物処理分野 | 繊維・衣服・その他の繊維製品分野 |
| 機械 |  | 化学物質総合評価管理分野 | 家具・装備品分野 |
| 電気機器 |  | ナノテクノロジー・高機能部材分野(グリーンサステイナブルケミストリーを含む) | パルプ、紙、紙加工品分野 |
| 輸送用機器 |  | ロボット分野 | 印刷・同関連分野 |
| 精密機器 |  | 設計・製造・加工分野 | 化学工業分野(石油製品、石炭製品、プラスチック製品を含む) |
| その他製品 |  | 航空機分野 | ゴム製品分野 |
| 水産・農林・鉱業 |  | 宇宙分野 | なめし皮・同製品・毛皮分野 |
| 建設業 |  | 人間生活技術分野 | 窯業・土石製品分野 |
| エネルギー供給業 |  | サービス工学分野 | 金属材料・金属加工・金属製品分野 |
| 陸海空運業 |  | コンテンツ分野 | 香料・化粧品分野 |
| 情報・通信業 |  | 建築・土木構造・設計分野 | 汎用機械器具分野 |
| 卸売業・小売業 |  | 建築・土木材料分野 | 生産用機械器具分野 |
| 金融業 |  | 建設施工分野 | 電気機械器具分野 |
| 不動産業 |  | 都市・交通 | 運送用機械器具 |
| サービス業 |  | その他建設・土木 | その他製造業 |
| 個人 |  | 創薬・診断薬分野 | 農業、林業、漁業、水産養殖業 |
| その他 |  | 診断機器・治療機器・医用材料分野 | 鉱業、採石業、砂砂利採取業 |
|  |  | 再生医療分野 | その他 |